

しょむに 庶務二のつぶやき

de JA1RIZ

どんな事でもそうかも知れないが、裏側から世相が見えてくる。

当方、いわゆる裏方の『庶務二係』係である。表舞台は『庶務一係』と呼ばれる様です。

兎に角、何でも屋で、いわゆる『庶務二』係的な仕事を生業としているのが、私のセクションであります。天井蛍光灯の球替え、トイレが詰った、手洗い水が出ない、排水があふれてる、マネキンさんの電気配線、鍵が締まらない、冷凍機がおかしい・・・。

蛍光灯が点灯しないのは、球が寿命か、器具の不良である。しかし、トイレが詰まった、排水が…のたぐいは、「詰まった」でなく「詰ませた」であり、「あふれてる」でなく「あふれさせた」というのが多いのである。現象には必ず原因があるから、その事が結果として起こるのであります。ものを依頼するときは、もっと謙虚になったらどうだろうか！といつも思う。

お客様相手の**業の場合、都合が悪いことは全てお客様が云っているようにするクセがある様である。例えば、暑い時は、「暑くてお客様が気持ち悪いと云ってまアす〜！」。「お客様が寒いと云ってまアす〜！」要は、『お客様が〇〇なので××して下さい。』的なものの言い方なのです。時にはその通りのことも偶にはあるかもしれないが、職場へ行って見るとほとんどお客様がいないのであります。お客様の気持ち…でなく従業員の都合なのです。Hi hi

又、小売業での違法行為で多いのが、『万引き』である。数百円～数十万、そして1点～数十点まで千差萬別。浮浪者風で所持金なしで食う物なく食料を盗る者、お金は持っているのにみみっちく数百円のを盗る者、盗る事を生業として盗る者…。

食料品だけでなく、衣類なども盗られる。汚いものを着てやってきて、試着室で着替えたり、トイレに持ち込んで着替えたりしてそのまま店を出て行くなどという大胆不適な者も結構多い。テナント店などで紙袋をもらってその中に盗品を詰め込んで堂々と持っていく猛者もいる。…なんでこんなに万引きが多いのか？ 第一に売り子さん（従業員）の危機意識の欠如。それに、売り場の合理化で従業員が少ないことが大きな原因ではなかろうか。昔のイメージは、うるさい位（失礼!）相手をしてくれた様な気がする。

それと迷子の発生がかなりある。特に「土・日・祝日」は、ひっきりなしに迷子放送がされる。1、2才～10才位がほとんど。母親は適当に子供を遊ばせて買い物や友人との会話に夢中になってはぐれてしまう様である。けっこう物騒な世の中なのに…。又、エスカレータ、エレベータ等という『危ない』機械もある。これも合理化でEVガールやES補助員もいない。ESに巻き込まれて大怪我をした、足の指・手の指を落とした…と話を聞くまでもなく、空恐ろしくなる。スーパーの中はそんなに安全・安心な場所ではないのです。事故が発生して法令が整備され、環境も改善されていきますが、危険はいろんな所に潜んでいます。もっと危機意識を持つことが必要です。

庶務二の仕事の大半は、いわゆる『球替え』です。簡単そうな作業ですが、これがけっこう大変。蛍光灯、水銀灯、メタルハライド(放電管)、ハロゲン、特殊灯。電力により、形状により、発光色により、又取り付け方法による種類など。ある程度は標準化されているが、今の所でも百種類以上あると思います。余白がなくなってきました。続きはまた別途にしましょう。

この様な事をしながら、憂い・呟きつつどうして今の仕事をしているかって？それは、子供の頃から夢見ている「強電屋」の端くれをしているらなのです。

庶務二のおじさんは、黙々とガンバッています。

(以上)